

2021年9月6日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「OKB景況指数」2021年9月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 青木 義美)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数」を公表しております。このたび、2021年9月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

調査結果要旨

景況の水準	景況の水準は5期連続で上昇。企業部門を中心に持ち直しの動きが続いた。生産活動は、自動車関連を中心とした製造業がけん引し、コロナ禍前の2019年9月期調査以来、2年ぶりにプラス水準に回復。個人消費は、回復基調は維持するも、変異株の拡大や繰り返される制限などを受け、飲食・サービス業を中心に依然厳しい状況。
景況の方向	3ヵ月後の景況感悪化を見込む。生産活動は弱含む見通し。東南アジア諸国からの部品供給停滞による自動車関連の生産調整、半導体不足や原材料価格高騰などが懸念材料。また、個人消費についても変異株拡大を受け弱含む見通し。
新型コロナの影響	地域経済への新型コロナの影響は、「2022年3月まで」が35.3%と最も多く、ワクチンによる効果を期待しているものと思われる。一方で、2022年後半以降も影響が続くとする回答が半数弱を占めた。

OKB景況指数とは・・・

OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にある**OKB大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

県域より狭い地域の景況の水準と方向を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景況水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤・後藤 TEL: 0584-74-2615 FAX:0584-74-2688】

OKB景況指数（2021年9月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある109支店の支店長
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気方向
- (3) 調査方法 2021年8月上旬に調査票を配付し、8月下旬までに回収

調査結果

景気的水準： 景気的水準は5期連続で上昇。企業部門を中心に持ち直しの動きが続いた。生産活動は、2年ぶりにプラス水準に回復。個人消費は、飲食・サービス業を中心に依然厳しい状況。

景気方向： 3ヵ月後の景況感悪化を見込む。生産活動は弱含む見通し。東南アジア諸国からの部品供給停滞による自動車関連の生産調整、半導体不足や原材料価格高騰などが懸念材料。また、個人消費についても変異株拡大を受け、弱含む見通し。

	景気的水準(2021年9月期)	景気方向(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> ・景気全般は▲17.3（前回比+7.8）と持ち直しの動きが続いた。依然マイナス圏ではあるものの、コロナ禍前の水準に戻りつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・▲15.6と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連を中心に製造業は堅調に推移しているものの、半導体不足等から先行きの不透明感は否めない。一方で、飲食・観光・アパレル関連では新型コロナの影響が依然として強く、回復の道筋が描けない状況。 	
県別	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県▲19.2（前回比+3.4）、岐阜県▲17.0（前回比+9.0）と、両県とも持ち直しの動きが続いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県は▲24.7と「悪化」超 ・岐阜県は▲7.4と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県では、自動車部品製造業は好調であったものの、半導体不足による生産調整や、東南アジア諸国がロックダウンした影響を受けて一時操業を停止した企業もある。 ・岐阜県では、製造業は半導体不足の影響はあるものの、自動車関連は堅調に推移。建設業ではウッドショックによる木材高騰を受けて、新築工事請負契約等に影響が出ている企業もある。 	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・東尾張、西濃、東濃・可茂など7地域で前回調査から上昇、飛騨・郡上は横ばい。前回調査でプラス圏だった西三河、東三河は低下し、プラス圏を維持したのは、東三河のみとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「良化」超 西濃 名古屋、東尾張、西尾張、 ・「悪化」超 西三河、岐阜、東濃・可茂、 飛騨・郡上、桑名・四日市
	<p>(支店長コメント)</p> <p>【西三河地域】 自動車関連部品製造業の受注は対前年比で増加傾向であったが、半導体不足や部品調達難、原材料価格の高騰など、製造原価の上昇から収益を懸念する声が増えてきた。</p> <p>【西濃地域】 業種によって二極化しており、自動車関連部品・住宅関連等の製造業は総じて堅調である一方で、飲食関連、ホテル・宿泊関連、旅行・レジャー関連企業等は引き続き苦戦している。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> ・「全地域」を項目別に見ると、全ての項目において回復基調を維持。特に「生産活動」では、+3.8（前回比+12.5）とコロナ禍前の2019年9月期調査以来、2年ぶりにプラス水準に回復した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「増加」超 「設備投資」、「資金需要」 ・「減少」超 「個人消費」、「生産活動」 「企業収益」 ・「不足」超 「雇用」
	<p>(支店長コメント)</p> <p>【個人消費】：スーパー・家具・家電等の巣ごもり消費は堅調。一方で飲食・旅行・宿泊関連は、緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置の動向に大きく左右される状況が続いている。</p> <p>【生産活動】：自動車関連を中心とした製造業は、米中国内経済の回復を受け好調。一方で世界的な半導体不足や原油・鋼材等、広範囲での価格高騰を受け、調達に影響が出始めている業種もあることから、今後の生産活動への影響が危惧される。</p> <p>【設備投資】：ものづくり補助金や事業再構築補助金等を活用できれば投資したいという企業はあるが、積極的な企業は少ない。</p> <p>【企業収益】：製造業等では売上回復するも、原油・半導体・木材・金属等の仕入れの高騰により利益率が悪化しているケースがある。</p> <p>【雇用】：製造業、建設業の人手不足は慢性化。新型コロナの影響で外国人労働者の確保が難しく、当面状況は変わらない見込み。一方で飲食業、サービス業は人員に過剰感がある。</p>	

*（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方向）と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。

②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方向」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2021年9月期)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)
名古屋	▲25.0 (+2.5) ↘	▲10.0 (+20.0) ↘	▲5.0 (▲5.0) ↘	▲20.0 (+17.5) ↘	▲22.5 (+12.5) ↘	▲32.5 (+5.0) ↘	2.5 (+7.5) ↘
東尾張	▲16.7 (+16.7) ↘	▲22.9 (0.0) ⇐	8.3 (+6.3) ↘	▲12.5 (+8.3) ↘	▲27.1 (▲8.3) ↘	▲27.1 (+12.5) ↘	45.8 (+31.3) ↘
西尾張	▲28.1 (+3.1) ↘	▲18.8 (▲3.1) ↘	▲9.4 (+28.1) ↘	▲25.0 (+9.4) ↘	▲25.0 (+9.4) ↘	▲31.3 (+6.3) ↘	3.1 (+6.3) ↘
西三河	▲12.5 (▲25.0) ↘	▲50.0 (0.0) ⇐	12.5 (+12.5) ↘	▲50.0 (▲12.5) ↘	▲12.5 (+12.5) ↘	▲50.0 (▲12.5) ↘	12.5 (+37.5) ↘
東三河	10.0 (▲10.0) ↘	0.0 (+20.0) ↘	40.0 (+20.0) ↘	▲20.0 (0.0) ⇐	20.0 (0.0) ⇐	▲20.0 (0.0) ⇐	20.0 (+20.0) ↘
岐阜	▲22.0 (+3.6) ↘	▲20.7 (+10.7) ↘	3.7 (+13.0) ↘	▲14.6 (+16.8) ↘	▲11.0 (+10.0) ↘	▲39.0 (▲8.8) ↘	24.4 (+16.3) ↘
西濃	▲13.8 (+17.2) ↘	▲22.4 (+17.2) ↘	▲1.7 (+12.1) ↘	▲20.7 (+19.0) ↘	1.7 (+41.4) ↘	▲53.4 (0.0) ⇐	24.1 (+5.2) ↘
東濃・可茂	▲16.7 (+11.1) ↘	▲27.8 (0.0) ⇐	0.0 (0.0) ⇐	0.0 (+33.3) ↘	▲22.2 (+16.7) ↘	▲5.6 (+27.8) ↘	27.8 (+5.6) ↘
飛騨・郡上	0.0 (0.0) ⇐	▲16.7 (▲16.7) ↘	16.7 (+16.7) ↘	▲16.7 (+16.7) ↘	0.0 (+16.7) ↘	▲50.0 (▲16.7) ↘	0.0 (0.0) ⇐
桑名・四日市	0.0 (+37.5) ↘	0.0 (+25.0) ↘	33.3 (+70.8) ↘	▲16.7 (+33.3) ↘	33.3 (+58.3) ↘	▲33.3 (+4.2) ↘	0.0 (0.0) ⇐
愛知県(5地域)	▲19.2 (+3.4) ↘	▲19.9 (+6.2) ↘	3.4 (+9.6) ↘	▲21.9 (+8.2) ↘	▲20.5 (+4.1) ↘	▲31.5 (+5.5) ↘	19.2 (+19.2) ↘
岐阜県(4地域)	▲17.0 (+9.0) ↘	▲22.3 (+8.9) ↘	2.1 (+10.5) ↘	▲13.8 (+20.5) ↘	▲8.5 (+21.2) ↘	▲37.8 (+0.3) ↘	23.4 (+9.9) ↘
三重(1地域)	0.0 (+37.5) ↘	0.0 (+25.0) ↘	33.3 (+70.8) ↘	▲16.7 (+33.3) ↘	33.3 (+58.3) ↘	▲33.3 (+4.2) ↘	0.0 (0.0) ⇐
全地域	▲17.3 (+7.8) ↘	▲20.5 (+8.3) ↘	3.8 (+12.5) ↘	▲17.3 (+16.0) ↘	▲12.1 (+15.3) ↘	▲35.0 (+2.6) ↘	20.8 (+13.5) ↘

(*1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。

各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(*2) ()内の前回比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(*3) 雇用は「不足-過剰」で算出。プラスは「不足超」、マイナスは「過剰超」を示す。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2021年12月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」-「悪化」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「不足」-「過剰」
名古屋	▲10.0 ↘	▲10.0 ↘	▲5.0 ↘	10.0 ↘	0.0 ⇐	▲10.0 ↘	5.0 ↘
東尾張	▲33.3 ↘	▲25.0 ↘	▲4.2 ↘	0.0 ⇐	▲16.7 ↘	29.2 ↘	16.7 ↘
西尾張	▲25.0 ↘	0.0 ⇐	▲12.5 ↘	6.3 ↘	▲6.3 ↘	0.0 ⇐	6.3 ↘
西三河	▲50.0 ↘	▲25.0 ↘	▲50.0 ↘	▲50.0 ↘	▲50.0 ↘	0.0 ⇐	0.0 ⇐
東三河	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐
岐阜	▲4.9 ↘	0.0 ⇐	2.4 ↘	4.9 ↘	2.4 ↘	2.4 ↘	7.3 ↘
西濃	3.4 ↘	6.9 ↘	10.3 ↘	6.9 ↘	0.0 ⇐	13.8 ↘	6.9 ↘
東濃・可茂	▲22.2 ↘	▲11.1 ↘	▲11.1 ↘	▲11.1 ↘	0.0 ⇐	▲11.1 ↘	0.0 ⇐
飛騨・郡上	▲33.3 ↘	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲33.3 ↘	0.0 ⇐	0.0 ⇐
桑名・四日市	▲33.3 ↘	0.0 ⇐	▲33.3 ↘	0.0 ⇐	▲33.3 ↘	0.0 ⇐	0.0 ⇐
愛知県(5地域)	▲24.7 ↘	▲13.7 ↘	▲11.0 ↘	▲1.4 ↘	▲12.3 ↘	6.8 ↘	8.2 ↘
岐阜県(4地域)	▲7.4 ↘	0.0 ⇐	2.1 ↘	2.1 ↘	▲1.1 ↘	3.2 ↘	5.3 ↘
三重(1地域)	▲33.3 ↘	0.0 ⇐	▲33.3 ↘	0.0 ⇐	▲33.3 ↘	0.0 ⇐	0.0 ⇐
全地域	▲15.6 ↘	▲5.8 ↘	▲4.6 ↘	0.6 ↘	▲6.9 ↘	4.6 ↘	6.4 ↘

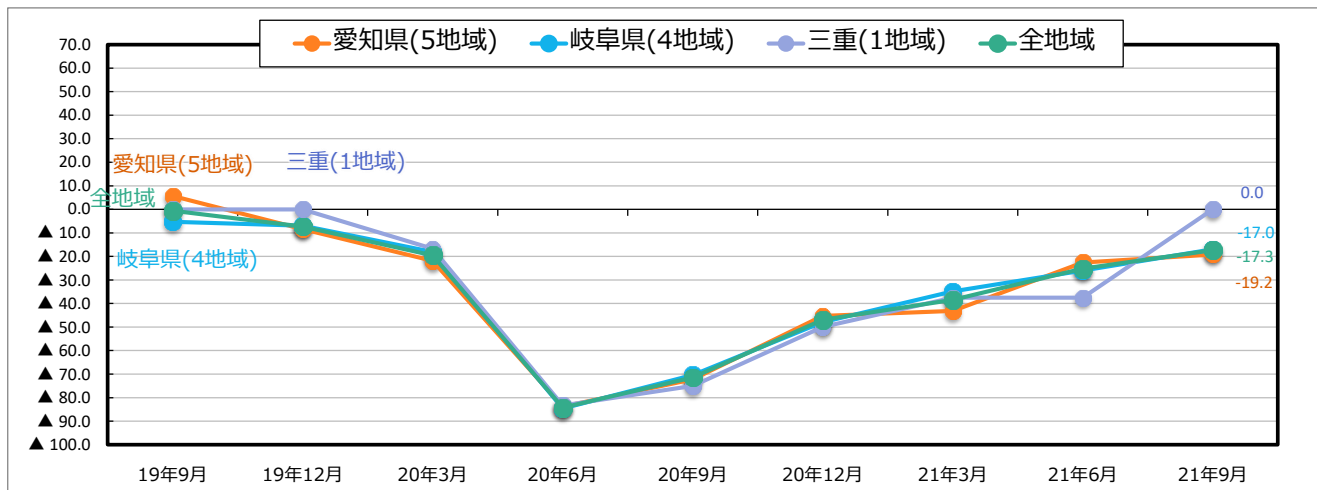
(*) 景気全般は、3ヵ月後には景気は今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

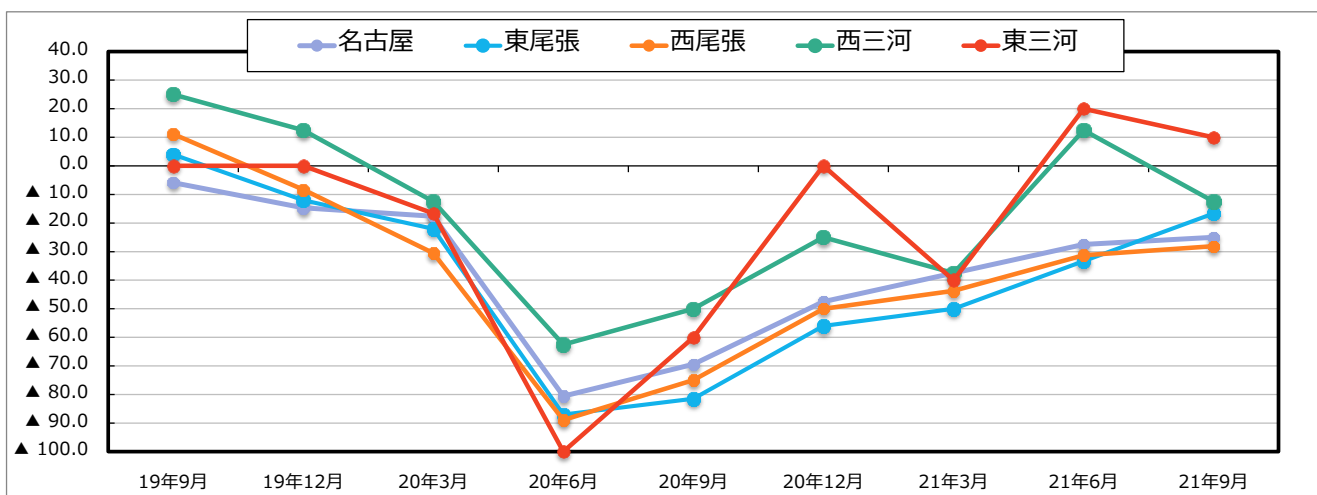
「景気の水準」の推移

■ 県別

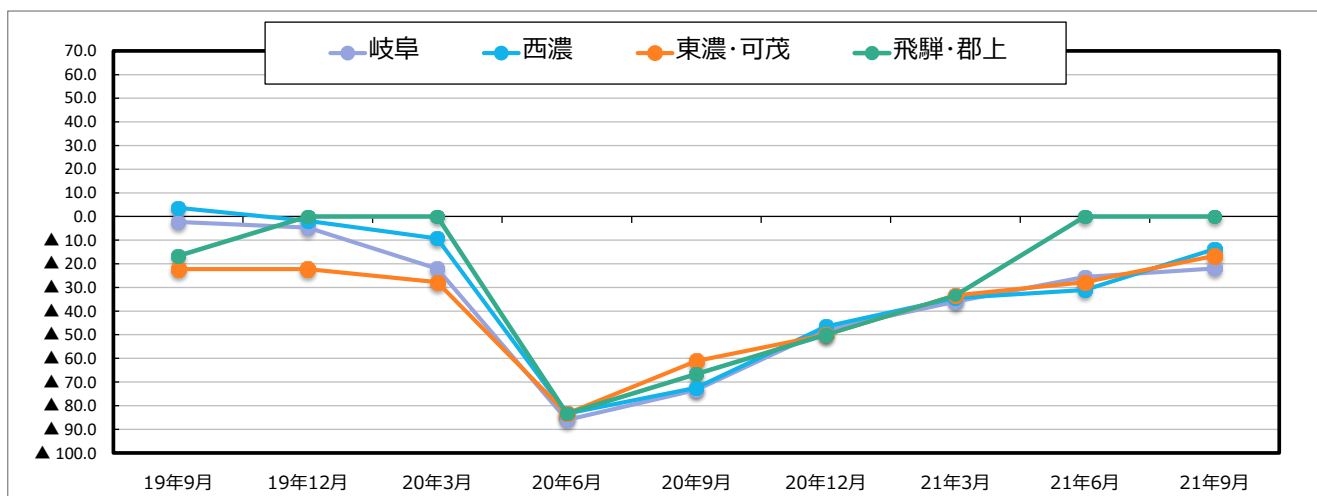


■ 地域別

① 愛知県内



② 岐阜県内



追加調査

「新型コロナウイルスによる地域経済への影響」

地域経済への新型コロナウイルスによる影響を観測するため、2020年6月期調査より、景況調査の各項目への「新型コロナウイルス感染症による影響」について尋ねている。地域の景況感に対する新型コロナウイルスの影響について、県別・項目別に見ていきたい。

影響度の指数化について

※指数はOKB景況指数の算出同様、各項目の回答に表のポイントを付与、支店の規模によるウェイト調整を行ったうえで算出している。全支店長が「極めて大きい」と回答した場合は最高点の4、全支店長が「影響はない」と回答した場合は最低点の0となる。

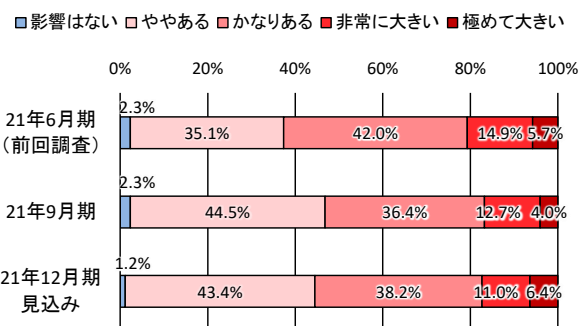
調査項目への新型コロナの影響の大きさ	付与ポイント
影響はない	0ポイント
ややある	1ポイント
かなりある	2ポイント
非常に大きい	3ポイント
極めて大きい	4ポイント

(1) 新型コロナによる地域経済への影響は、「ややある」が44.5%と最も多かった。「極めて大きい」、「非常に大きい」の合計は前回比▲3.9ポイントとなっており、新型コロナの影響はやや弱まっている。地域経済への影響は低下傾向が続いている。

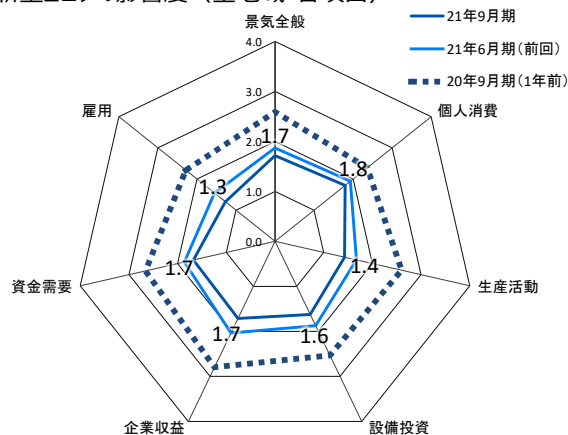
景況調査の各項目への「新型コロナによる影響」について尋ねたところ、景気全般では「極めて大きい」が4.0%、「非常に大きい」が12.7%、「かなりある」が36.4%、「ややある」が44.5%、「影響はない」が2.3%だった。前回（6月期）調査から、「極めて大きい」、「非常に大きい」、「かなりある」が低下し、「ややある」が上昇した。景気全般の影響度は1.7、前回から0.2ポイント低下した。項目別では、「企業収益」、「雇用」が前回比▲0.3と影響度が低下するなど、全ての項目で6月期調査から低下。1年前の20年9月期と比較すると、いずれの項目も影響が低下していることが確認できる。特に「生産活動」、「企業収益」での低下幅が大きい。

3ヵ月後の見通しについて、愛知県・岐阜県とも足元で感染者数が急拡大していることなどを受け、各調査項目への「新型コロナによる影響」は、やや強まる見込み。

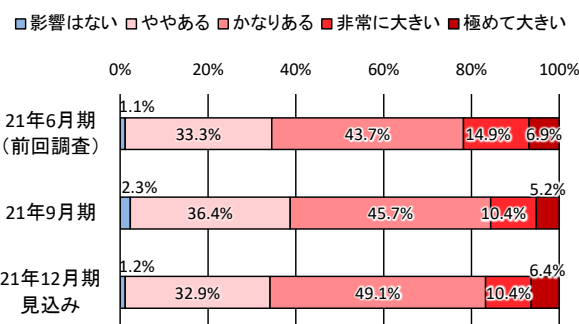
・新型コロナの影響について（全地域・景気全般）



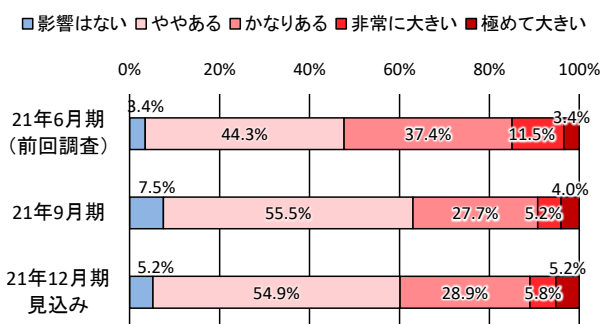
・新型コロナの影響度（全地域・各項目）



・新型コロナの影響について（全地域・個人消費）



・新型コロナの影響について（全地域・生産活動）



(2) 新型コロナの景気全般への影響度は、岐阜県では低下するも、愛知県ではやや上昇。

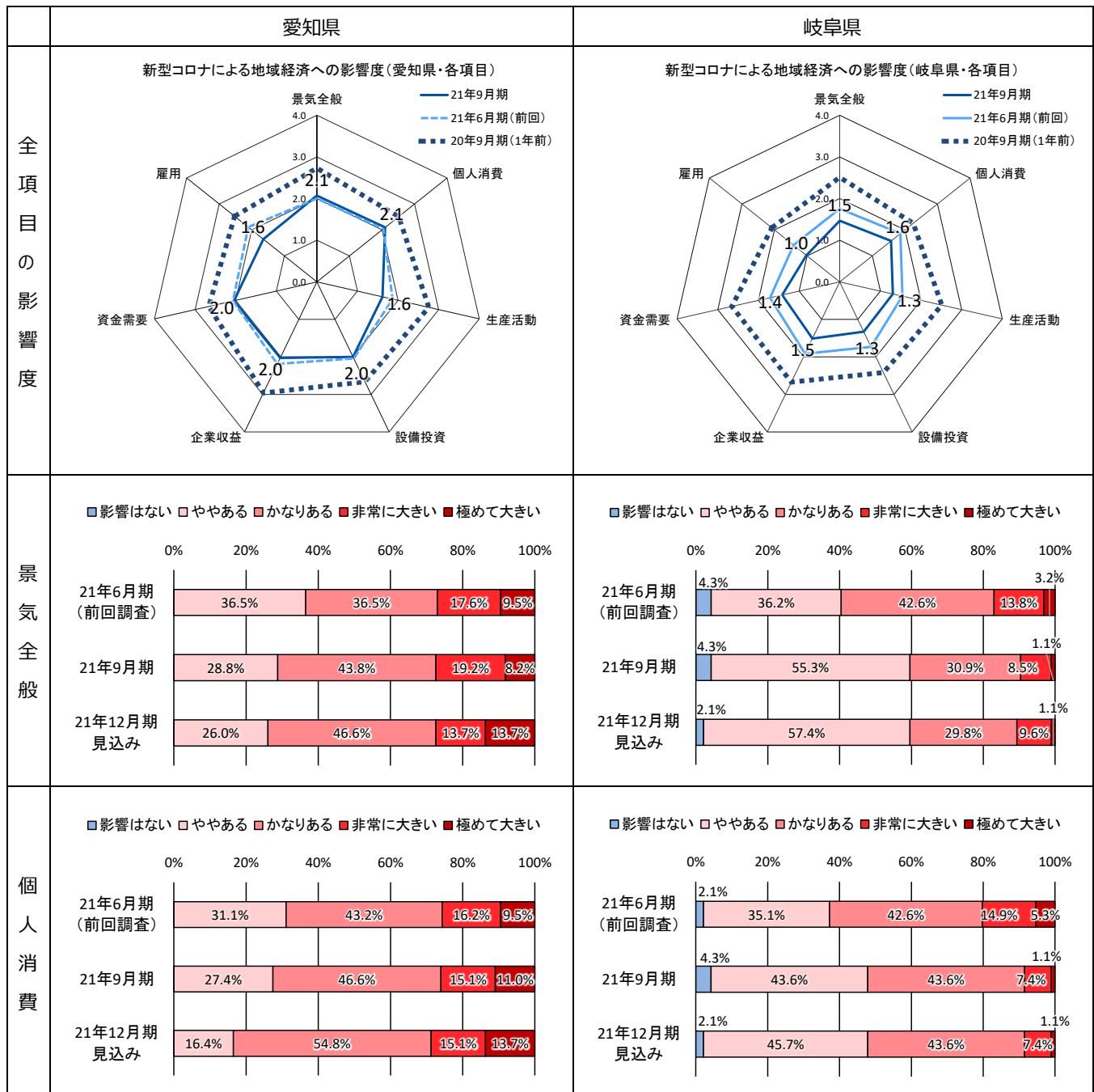
県別に新型コロナの影響度をみている。「景気全般」に対する影響度は、愛知県が2.1、岐阜県が1.5と、愛知県ではやや上昇したものの、岐阜県は低下傾向が続くなど、両県の差が顕著だった。岐阜県ではすべての項目で影響度が前回から低下した。一方で、愛知県では「生産活動」、「雇用」の2項目で影響度が低下したものの、「個人消費」が上昇、「設備投資」、「資金需要」は横ばいとなるなど、両県の差が顕著となった。

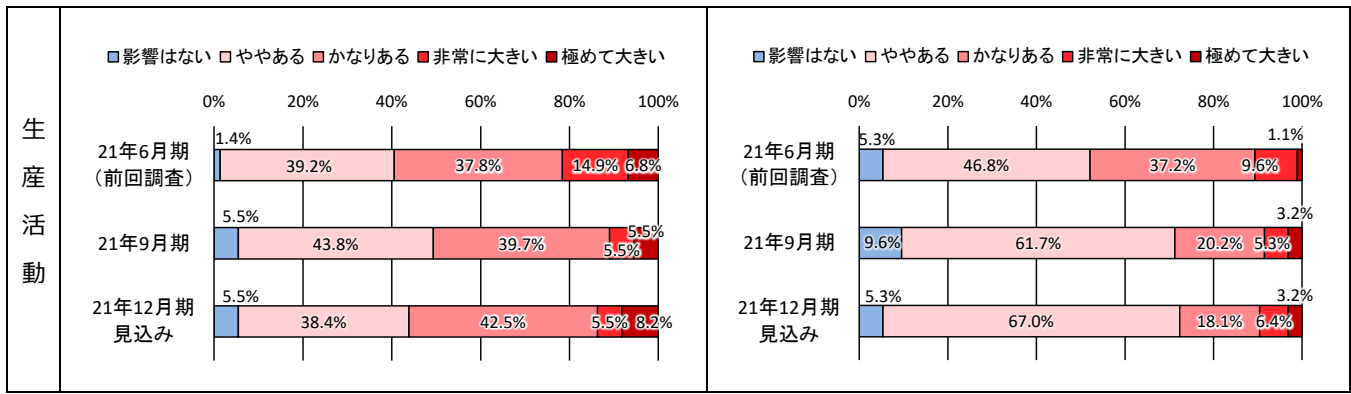
「景気全般」への影響について、「極めて大きい」、「非常に大きい」の回答を合わせると、愛知県27.4%、岐阜県9.6%と、愛知県が岐阜県を上回っており、両県の同割合の差は前回調査から拡大した。同割合を項目別に見ると、「生産活動」においては両県ともに低下となった。一方で、「消費活動」については岐阜県では低下傾向が持続しているものの、愛知県では「極めて大きい」が微増となっている。

また、影響度を1年前の20年9月期と比較すると、両県ともいずれの項目も影響が軽減していることが確認できる。岐阜県は愛知県に比べ、低下幅が大きい。

3か月後の景気全般への新型コロナの影響については、岐阜県では各回答が今回調査とほぼ横ばいとなる一方、愛知県では「極めて大きい」の回答が5.5ポイント上昇している。愛知県では、「生産活動」、「個人消費」で新型コロナの影響が増加見込みとなるなど、今後の景況感の弱含みにつながっているものと思われる。

・新型コロナの影響について（県別・項目別）



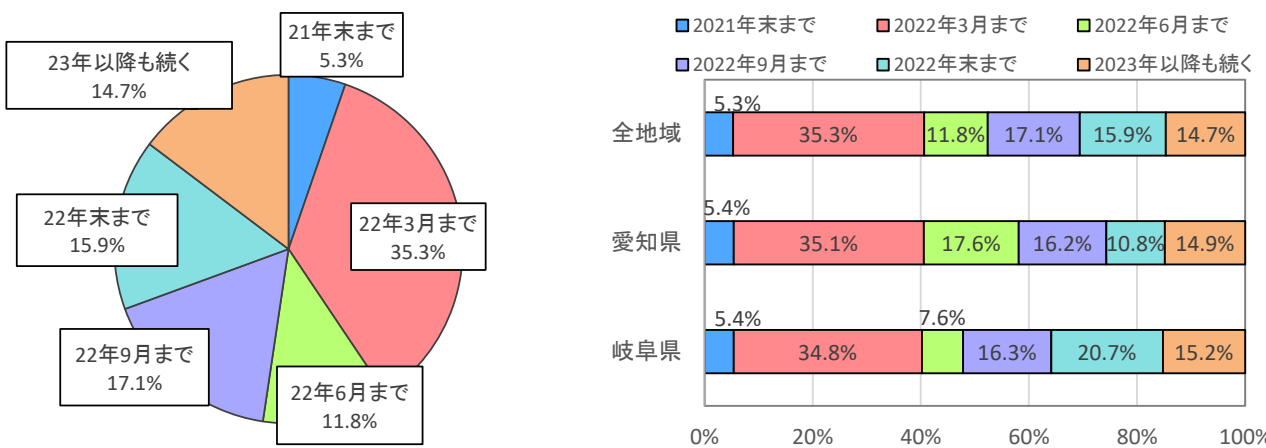


(3) 地域経済への新型コロナの影響は、「2022年3月まで」が35.3%と最も多く、ワクチンによる効果を期待しているものと思われる。一方で、2022年後半以降も影響が続くとする回答が半数弱を占めた。

新型コロナによる地域の経済問題はどの程度続くと思っているかを尋ねたところ、「2022年3月まで」が35.3%と最も多かった。ワクチン接種による効果等を期待しているものと思われる。一方で、22年後半以降も続くとの回答が半数弱を占め、そのうち「2023年以降も続く」の回答は14.7%を占めている。変異株などにより感染拡大が繰り返されており、先行きが見通せず、地域経済への影響について長引く展開を想定しているようだ。

また、愛知県は、岐阜県に比べ影響が大きいと回答する割合が多かったが、影響を受ける期間については、両県に大きな差はみられなかった。

・新型コロナによる地域の経済問題はどの程度続くと思っているか



以上